

あわつと感染症情報 (2026-12)

千葉県安房保健所発
2026 年 3 月 27 日配信

☆今週のトピックス☆

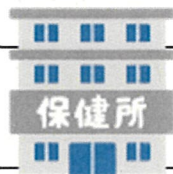
県内で腸管出血性大腸菌感染症、HUS 患者が発生しました！

八千代市在住の 10 歳未満の男性 1 名と女性 1 名が腹痛、血便等の症状を呈し、八千代市内の医療機関を受診し、入院、検査、治療を受けていたところ、腸管出血性大腸菌感染症及び溶血性尿毒症症候群 (HUS) と診断されました。なお、現在、患者 2 名は入院加療中です。

大腸菌の中には、ベロ毒素を産出し、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群 (HUS) を起こす腸管出血性大腸菌と呼ばれているものがあります。代表的なものは「腸管出血性大腸菌 O157」で、そのほかに「O26」「O111」等が知られています。

腸管出血性大腸菌は牛など家畜の腸管内にすることがあり、その糞便で汚染された食品や、糞便で汚染された場所を触った手指から経口的に感染します。

！ 腸管出血性大腸菌感染症は、3 類感染症です。
診断した医師は、直ちに最寄りの保健所に発生届を提出する必要があります。



HUS とは？

様々な原因によって生じる血栓性微小血管炎 (血栓性血小板減少性血管炎) による急性腎不全であり、破碎状赤血球を伴った貧血、血小板減少、腎機能障害を特徴とします。HUS の初期には、顔色不良、乏尿、浮腫、意識障害等の症状が見られます。

HUS は腸管出血性大腸菌感染の重症合併症の一つであり、子どもと高齢者に起こりやすいのでこの年齢層の人々には特に注意が必要です。



食中毒予防の 3 原則



つけない

- ☑ 洗浄
材料、手指、調理器具を洗う
- ☑ 身だしなみ
マスク、手袋、帽子の着用
- ☑ 消毒
調理器具の次亜塩素酸ナトリウムや煮沸による消毒
- ☑ 相互汚染の防止
調理器具の使い分け、蓋つき容器の使用

増やさない

- ☑ 正しい冷蔵庫の使い方
 - ・冷蔵は 10 度以下、冷凍は -15 度以下
 - ・隙間を空けて、冷気の通り道を作る
 - ・温度計で温度をチェック
 - ・庫内温度が上がらないように開け閉めは短時間で
- ☑ 調理済みの食品はできるだけ早く消費

やっつける

- ☑ 中心部まで確実に火を通す
中心部の温度が 75℃で 1 分間以上加熱すること
- ☑ 加熱だけでは防げない直中毒もあるため注意
 - ・黄色ブドウ球菌
 - ・ウエルシュ菌

<参考>・腸管出血性大腸菌 (O157) による溶血性尿毒症症候群 (HUS) の発生について (令和 8 年 3 月 23 日) (千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/ehec20260323.html>

・腸管出血性大腸菌感染症 Q & A (厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

・食中毒予防の原則と 6 つのポイント (政府広報オンライン) <https://www.gov-online.go.jp/article/20110602/entry-8196.html#firstSection>

✿安房管内の感染症発生状況✿

インフルエンザ

安房

県内

★安房管内における2026年第12週(令和8年3月16日～令和8年3月22日)定点医療機関当たりの

報告数は**3.33人**と前週2.83人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は7.32人と前週9.38人と比べ、減少)

県内での報告数が警報基準値「10」を下回ったため、令和8年3月18日をもってインフルエンザ警報が解除となりました。

<参考>インフルエンザから身を守ろう(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>
インフルエンザ警報の解除について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/2026influalertlift.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

安房

県内

★安房管内における2026年第12週(令和8年3月16日～令和8年3月22日)定点医療機関当たりの

報告数は**1.25人**と前週2.25人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は2.53人と前週3.05人と比べ、減少)

<参考>・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-17.html>

✿安房管内の全数届出疾患✿

全数届出疾患:全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、掲載の届出様式により最寄りの保健所に届け出る必要があります。

<2類感染症>

★結核 1件

結核とは、「結核菌」という細菌による慢性感染症です。患者のくしゃみや咳の際に体外に排出された結核菌は微小な大きさのため、なかなか落下せず空気中を漂っています。この結核菌を肺の奥深くまで吸い込んで、小さな病変ができて、時には肺の入り口のリンパ節が腫れた段階で感染が成立したことになります。

「感染」したからといって、全ての人が「発病」するとは限りません。「発病」とは感染した後、結核菌が活動を始め、菌が増殖して体の組織を冒していくことです。症状が進むと、せきや痰(たん)と共に菌が空気中に吐き出される(排菌)ようになります。ただし、「発病」しても「排菌」していない場合は、他の人に感染させる心配はありません。

結核は、今でも年間10,000人以上の新しい患者が発生し、1,400人以上が命を落としている日本の主要な感染症です。職場の健診は、しっかり受け精密検査になった場合は医療機関を受診しましょう。また、職員の健診結果の管理も、未受診のないようにしましょう。

<参考>・結核Q&A(結核予防会) https://www.jatahq.org/about_tb/qa

<4類感染症>

・エムポックス 1件

エムポックスはウイルスによって感染する病気です。一般的には発熱や発疹、リンパ節の腫れ等の症状が見られますが、多くの場合、2～4週間で自然に治ります。

感染経路は、感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液との接触(性的接触を含む))が中心です。現在報告されている患者の多くは男性であり、そのほとんどが男性同士の性的接触がある男性ですが、女性や小児の感染も報告されています。

予防法として、天然痘ワクチンが、エムポックスウイルス暴露後の発症予防や重症化予防に有効とされています。

<参考>・エムポックス(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html
・エムポックスに関する情報提供及び協力依頼について(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/content/001606805.pdf>

【配信元】

千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)

あわつと感染症情報

awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp